

物理／工学／フォトンクスにおける女性の活躍 WIP/WIE/WIP: Women in Physics, Engineering, and Photonics

伊賀 健一 東工大

°Kenichi Iga, Tokyo Institute of Technology

e-mail: kiga@vcsel.org

男女共同参画の取り組みが、国として始められて久しいが、まだまだ途上にある[2]。女性が社会で快適に活動出来ることは社会成熟度の指標とも言える。文部科学省の女性研究者支援プログラムには、国公立大学が工夫を凝らしたプランで応募し 100 近い機関が支援を受けた[1]。また、いくつかの支援プログラムも実行に移されてきた。

図 1 は東工大が実行し、継続している理工系女性研究者プロモーションプログラムの構成である[3]。研究者の都合はまちまちであるので、出来るだけテイラーメイド的な支援を心がけた。図 2 は教員増加率で、数値目標は増加率を掲げた。

組織として重要なことは以下の 3 点にある。

- 1 トップの役目＝快適職場環境を作る
- 2 継続的なスタッフ部門を置く
- 3 教職員の意識を変える企画を入れる

また、構成員の処世法も大事である。以下は、筆者の経験則である。

Iga's Nine Laws for Changing Mind

- 第 1 法則 言っても直らないことは、言ってはならない。
- 第 2 法則 叱らないといけない時は叱る、その場で。
- 第 3 法則 怒ってはいけない。
- 第 4 法則 ハラスメントに気を付けよ。まず、それを理解すること。
- 第 5 法則 トイレットペーパーは耳を出して終わる。
- 第 6 法則 けなしてはいけない。得るものは何もない。
- 第 7 法則 褒めるのは、けなすよりも難しい。
- 第 8 法則 タバコはやめる、歯磨きをする。
- 第 9 法則 出張の心得。

第 10 法則 ありのままの自分を。感心、感動、驚き、好奇心…。

Leap 理工系女性研究者プロモーションプログラム

2008-2010

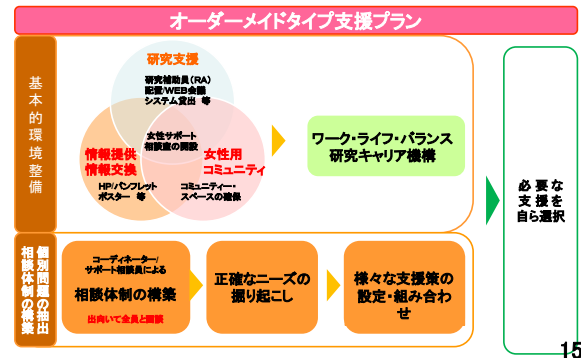


図 1 東工大の女性研究者支援プログラム

Female Faculties at Tokyo Institute

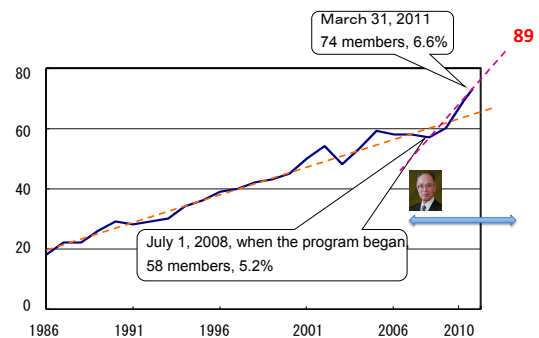


図 2 東工大の女性教員割合

ますます、若い人達の働く環境が男女を問わず厳しくなっている。それだからこそ、心して仕組みの改善に取り組まないといけない。

参考文献

- [1] Kenichi Iga and Jun Nakamura: in "Progress of Gender Equalization", SCJ Book No. 12 (2006)
- [2] Kenichi Iga and Maki Kubo: in "Progress of Gender Equalization", SCJ Book No. 12 (2006)
- [3] Kenichi Iga: Proceedings of the 12th Asia Pacific Physics Conference, JPS Conf. Proc., 018003 (2014)

